

# 第2期清里町観光振興計画

を策定しました

清里町の観光を振興する方向性と、その取組内容をまとめた「第2期清里町観光振興計画」を策定しましたので、計画の概要をお知らせします。

## 計画策定の目的

第1期清里町観光振興計画の推進状況や現状を再確認し、清里町らしい観光振興の方向性や目指すべき姿、イメージづくりと発信、環境・社会文化・経済への影響に配慮した観光振興の推進、新たな資源の発掘活用など、地域が一体となって取り進める清里町の目指す観光振興の方針を定めるものです。

## 策定の方法

本計画の策定にあたっては、きよさと観光協会、清里町商工会、清里町農業協同組合、札弦地域代表、緑地域代表、一般公募からの12名により「清里町観光振興計画策定委員会」を設置し、その他専門的知見からご意見をいただくために、きよさと観光協会顧問、環境省職員、林野庁職員3名のオブザーバーにも参画いただきながら策定しました。

## 計画の位置づけ

本計画は、清里町の観光振興の基本的な考え方と施策の方向性を定めるもので、まちづくり計画の最上位である「清里町総合計

画」の観光分野における個別計画として位置づけられるものです。

また、平成27年に国連サミットにおいて国際社会全体の目標として「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals:SDGs)」が定められたことを受けて、国では、平成28年に実施方針を決定し、観光の分野でもその達成に向けて観光が貢献する取り組みを進めることとしており、本計画においても国の指針を念頭に取り進めます。

## 計画の期間

令和5年度から令和9年度までの5年間

## 策定までの経過

本計画の策定にあたっては、第1期清里町観光振興計画の推進項目に沿った取組状況を確認し、その中から見えてきた課題に対して論議を行いました。その結果を踏まえ、かつ、国際社会全体の目標として定められた「持続可能な開発目標」や、観光の分野においても、その目標達成に向けた取り組みである「持続可能な観光の推進」をサステイナブルツーリズムを進めることから、本計画においてもこれらの指針を念頭に計画を策定しました。

## 【基本理念】

自然と人とのつながりを大切に、清里の良さ・魅力を伝える

環境・社会文化・経済への影響に配慮した魅力の創造

清里町の貴重な財産である豊かな自然環境や社会・文化を守り育てながら後世につなぎ、清里町の魅力を引き出し、「清里の良さ・魅力」を感じていただきながら、人とのつながりを大切にした観光振興の活性化を図り、来訪者と清里町が長く結びついた観光産業への経済効果が図られる持続可能な観光地域づくりに取り組む思いを込めています。

| 開催期日           | 内容  |
|----------------|---|
| 令和3年<br>10月26日 | 第1回策定委員会<br>・策定方針、スケジュール等説明<br>・清里町の観光について意見交換            |
| 令和3年<br>11月24日 | 第2回策定委員会<br>・清里町の観光における現状・課題について<br>(第1期計画の推進状況の確認及び反省評価) |
| 令和4年<br>1月26日  | 第3回策定委員会<br>・第2期計画策定における方向性について<br>(重点的に論議する内容について)       |
| 令和4年<br>7月5日   | 第4回策定委員会<br>・第2期計画の構成<br>(基本方針と戦略等について)                   |
| 令和4年<br>7月26日  | 第5回策定委員会<br>・基本目標と戦略、主な施策について                             |
| 令和4年<br>9月9日   | 第6回策定委員会<br>・基本目標と戦略、主な施策について                             |
| 令和4年<br>10月7日  | 第7回策定委員会<br>・現状の再確認と目標、戦略の再調整                             |
| 令和4年<br>12月9日  | 第8回策定委員会<br>・観光振興計画案案について                                 |





- 1 ほしかぜの丘スノーシューツアー
- 2 親子自然観察会
- 3 オートキャンプ場
- 4 ダウンヒルサイクリング

町では、滞在型観光の促進や経済波及効果の向上に向けて、オートキャンプ場の充実や四季折々の美しい自然を肌で感じられる体験型ツアーの構築などに取り組んでいます。



# 策定委員から出された観光振興に向けた「意見」

策定委員会の中では、各委員のそれぞれの立場から、たくさんのご意見が出されました。その意見を6つの課題に分類・整理し、主な内容をまとめました。

## 1 通過型から滞在型観光へ促進していくための方策（滞在時間の延長）

清里町での人気観光スポットにおける滞在時間は短く、見終わると次の観光スポットへと移動してしまい、町への経済効果が低いことから、訪れる人が四季を通じて少しでも長く滞在したくなるような過ごし方を伝える取組みが必要です。

- 【委員の皆さんからのご意見】
- 宿泊することで体験できる観光メニュー
- アウトドアブームに対応したキャンプ場の充実（地場産品を使った食事セットの提供）
- 景勝地をつなげる事業の展開

（スタンプラリーなど）

- 気軽に立ち寄りたくなる体験メニュー
- 清里での過ごし方を伝えるマップの作成（ランニングマップ、フリーWiFiマップなど）
- 清里町の自然を活用した体験型事業の展開 など

## 2 観光人材の育成と観光組織体制の強化

清里町の観光振興を図るうえで、人材や組織の強化は重要な取り組みです。

- 自然景観や環境を守りながら観光事業を推進することの大切さを理解し、観光協会を中心とした人材活用や雇用の創出を図りながら、観光ガイドやサポーターを育成し、町の観光を強化する取組みが必要です。
- 【委員の皆さんからのご意見】
- 観光協会を中心とした観光情報発信の充実と、清里の良さを広めるサポーターの獲得

## 3 観光による経済波及効果の向上

滞在時間の短さや消費拡大につながる観光メニューが少なく、観光客が町を訪れることによる経済効果が低いことから、観光分野のみならず、各産業と連携した観光地づくり、魅力づくり、発見、買い物、飲食に繋げる取組みが必要です。

- 【委員の皆さんからのご意見】
- 清里の魅力が詰まった農協女性部考案のレシピの活用
- 各団体とのコラボによる商品の開発
- 一般公募による特産品コンテストの実施による観光振興

## 5 既存の観光資源の確保と魅力の向上及び育成のための方策

美しい観光資源の環境保全に向けた取組みと理解を、環境省や林野庁と連携しながら推進することが大切です。また、動画による町の暮らしや魅力を伝える観光プロモーション活動の強化も、より有効な取組みです。

- 【委員の皆さんからのご意見】
- 清里の魅力の発信（普段は体験できない映像や働く人、作業風景など）
- 季節に応じた体験メニューなど

● 特産品を強化しながら観光振興につなげる など

## 4 観光施設実施に関する実施主体をはじめとする役割の明確化

観光振興を図るための中心となる町や観光協会、商工会、農協、ガイド協会、飲食店組合など、関係団体の役割を確認し、それぞれの団体が得意な分野・手法による取組みが必要です。

- 【委員の皆さんからのご意見】
- 各関係機関、団体による小まめな観光関連情報の発信
- それぞれの得意な分野を持ち寄った組織連携による観光事業の展開 など



## 6 アフターコロナを見据えた新しい生活様式に対応した観光振興の方策

新型コロナウイルス感染症の終息後も、わたしたちの生活の中には感染への不安が継続されていくものと考えられます。一人ひとりが基本的な感染対策を図りながら、ストレスのない安心・安全な観光ができるよう受け入れ側も配慮した取組みが必要です。

また、人混みを避けた開放的な環境でゆったりとくつろぐ時間の提供や、時代に沿った観光情報提供のためのアイテムの活用も必要です。

- 【委員の皆さんからのご意見】
- 季節ごとの清里の魅力発信
- SNSの普及による個人からの情報発信促進
- ターゲットを意識した事業展開（個人、家族、団体、各年代など）
- 観光地における通信環境の整備
- 再訪型（リピーター）観光客獲得のための魅力づくりと取組みなど



# 基本理念を達成するための5つの基本目標と戦略

清里町の観光振興を推進するために、施策の基本的な方向性である基本目標を次のとおり定め、各基本目標を達成するための戦略を設定して観光振興に取り組みます。

## 基本目標1

### 環境保全に向けた取り組み

清里町の観光振興の基盤となる豊かな自然や景観を守り、サステイナブルツーリズム（持続可能な観光）を推進し、隣接する知床

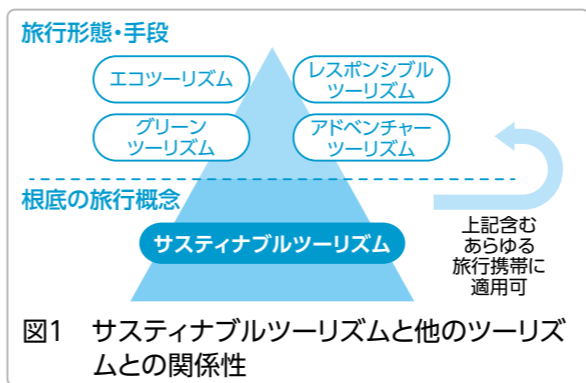


図1 サステイナブルツーリズムと他のツーリズムとの関係性



図2 ひがし北海道3つの国立公園とまちを繋ぐ約370kmロングトレイル構想(環境省より)



図3 江南エリアに集中している豊かな観光資源  
知床と阿寒摩周の両エリアを結ぶ好位置である江南エリアにおける清里オートキャンプ場、江南パークゴルフ場、旧江南牧場などを活用した宿泊やアウトドア・アクティビティ活動の展開を図るための環境整備など、既存の観光資源を環境保全に配慮しつつ、観光資源の有効活用を図るための取り組みを行います。

## 基本目標2

### 魅力向上に向けた取り組み

国立公園や阿寒摩周国立公園と同調した自然環境の保全に取り組むとともに、自然環境や観光動向調査等を踏まえ、今日まで守られてきた自然環境を損なうことなく後世へつなげるための取り組みを行います。

- サステイナブルツーリズム(持続可能な観光)の推進
- 知床国立公園拡張構想への取り組み
- 阿寒摩周国立公園の環境保全への取り組み
- 自然環境・観光調査の取り組み

清里町を訪れる観光客等の利便性と満足度の向上を図るため、観光基盤の整備・充実を図るとともに、清里町の魅力ある地域資源を取りそろえた事業展開や、清里町での滞在における利便性を確保するための通信環境や交通環境などの整備に努めます。

清里町の美しい景観も取り入れられている環境省によるひがし

- 北海道ロングトレイル構想も視野に入れた取り組みを推進します。
- 清里町の魅力向上を図るために、町や観光協会のみならず、町ぐるみの「おもてなし」が清里町の魅力につながるよう推進します。
- 立地条件を活かした取り組み
- ひがし北海道ロングトレイル構想への取り組み
- 交通環境の整備
- 通信環境の整備
- おもてなしへの取り組み

## 基本目標3

### 組織・人材の育成と多様な連携

観光振興を推進するために、単独では限界があることから、地域を支える住民や各団体の理解を深め、様々な民間事業者や関係機関と連携を図りながら、清里町の地域資源の特色を生かせるよう、町全体での観光振興に取り組めます。

また、観光人材の育成を図り、来訪者へのおもてなしの心を醸成し、清里に来て心地よい環境を整備することで、来訪者の満足度の向上に努めます。

新型コロナウイルス感染症の影響による旅行スタイルの変化においては、感染予防対策を含め、来訪者が安心して楽しい時を過ごしていただけるための観光ニーズに対応し、旅行先として選ばれる地域を目指します。

- 広域連携の推進
- 民間事業者等との協力・連携
- ボランティア育成と活用
- 外国人観光客の受入れ
- 観光DMO(観光資源を経済的効果につなげる団体)の取り組み
- 感染症対策の取り組み

## 基本目標4

### 観光DXと情報の収集・発信

観光DX(観光資源とデジタル技術を合わせた新しい取り組み)の活用を視野に入れ、町独自の観光統計情報に加え、国や各関係機関などから公表されている観光統計情報なども活用しながら、町内観光地点の人流データからの滞在時間や人数、推定される周遊ルート、「どんな人が」「どこから」「何を求めて」「どのように」清里町を訪れているのかなど、様々なデータ分析の中から清里町のターゲットにすべき来訪者や地域のコンセプトを検討し、「誰に」「何を」「どのように」届けるか「来訪者のニーズに対応した情報の発信を目指します。

また、観光関連企業等との連携により、清里町の魅力の発見・創出、観光資源の有効活用や情報発信など、マスメディアやSNSを活用しながら効果的な情報発信を戦略的に行うことで、清里町のイメージアップと誘客につながる観光プロモーションの強化を図ります。

- 観光DX(観光資源とデジタル技術を合わせた新しい取り組み)

## への取組

- 情報収集の取組み
- 情報発信の取組み

## 基本目標5

### 社会経済発展に貢献する観光

観光振興を推進することにより町外からの来訪者呼び込み、交流人口や関係人口が創出されることで清里町に対する満足度を高め、訪れたことを機に移住・定住への関心や起業に向けての意識の高揚や地域経済の活性化、雇用の創出につながる取り組みを推進します。

また、観光地経営の視点に立った観光地域づくりについて、観光素材や自然、食、文化など、地域にある観光資源が経済的効果につながるよう、地域と各関係機関、事業者などが協同し、戦略的に実施するための調整機能を備える取組みを目指します。

- 地場産品のブランド化
- 観光と地域の繋がり
- 観光DMO(観光で地域が稼げる仕組みや取組みを進める)の取組み



# 計画の着実な 推進に向けて

本計画の中には、すぐに取り組める事業から、ある程度の期間を必要とする事業もあります。が、実現できることから着実に実施していくことが重要です。

本計画を推進するためには、各主体がそれぞれの役割を果たすことが大切ですが、積極的に相互連携し、かつ、積極的に外部有識者を活用するなど、果敢に新しい取り組みに挑戦することが求められます。

町、観光協会、商工会、農協は各主体間のコーディネーターとして、取組みに対する支援や調整を行いながら、四者で連携し計画を推進します。

また、本計画の推進にあたっては、年度ごとに観光関係団体や事業者、町民、町等により進捗状況を検証し、世の中の動きと観光を取り巻く状況に対応した選択により推進していきます。

## 計画策定作業 を通して

観光振興計画の策定に携わった4名の委員さんへ、観光振興にあたって大切だと思うことや町の観光に期待することなど、策定作業を通して感じたことをお伺いしました。

オブザーバー  
たなか じゅん  
**田中 準 さん**



環境省  
阿寒摩周国立公園  
管理事務所長

清里町は昔から、農業と自然の風景が調和し、心安らぐ美しい町です。観光振興を図るにあたっては、美しい風景やゆったりとした雰囲気的大事にして壊さないこと、「清里らしさ」を伝えられる・堪能できるサービスを作ること、この2つの視点を軸に、町全体で理念や目標を共有して連携協力し、他産業等との間に相乗効果を生み出すことが大切だと感じています。

観光で、清里らしい地域振興・地域づくりが進むことを期待しています。

委員  
かわい ちひろ  
**河合 千尋 さん**



パパスランドさつづる  
支配人

清里町の農村風景やおいしい水は、私たちにとっては当たり前ですが、町外から来た観光客の方は感動されることも多く、清里にはまだまだ掘り起こせる観光資源があると感じています。また、この町の観光資源について、小中高の教育活動と連携することができれば、将来的に大きな町の力になると考えています。

今回の計画も、行政だけ、観光業だけが取り組んでも実現できません。町民全体が一丸となって取り組んでいくことが必要だと思います。

副委員長  
さいとう せいこ  
**斉藤 聖子 さん**



一般公募

清里町は日常の中で自然に触れられる場所が豊富です。もっとその良さを伝え、生かしていくことが必要だと感じます。この町で観光に携わる方々は、みんな清里町が好きで、活動は違えど「この町の魅力を多くの方に伝えたい」という思いは同じです。それぞれの活動の点と点が面となり、スマートに観光の力を伸ばしていけたらと思います。

町の自然を守りながら、スピード感を持って取組みが進められることを期待します。

委員長  
やました けんご  
**山下 健吾 さん**



きよさと観光協会  
会長

清里町における観光の可能性や魅力を町民の方々に伝えることに、もっと力を入れなければならないと感じています。

過疎が進み、町の存続が危ぶまれるこの町において、観光はまさに町おこしや地域振興そのものでもあります。新しいことにチャレンジすること、そしてチャレンジして失敗しても許容し、次に生かすことが重要だと考えます。北海道中探しても、こんなに素晴らしい町はありませんから。